

公立大学法人長野大学 平成30年度第2回経営審議会議事録

1. 日 時 平成30年11月14日(水) 午前9時30分から午前11時30分

2. 場 所 長野大学9号館3階会議室

3. 出席者 白井汪芳(議長)、中村英三、森俊也、中島豊、宮川直、古川孝順、
池田明、中谷朔三、榎本祐嗣、柳原渉、岡田基幸、山辺正重

4. 欠席者 なし

5. 議事概要

(1) 議事録確認

第1回(6月13日)会議の議事録は、原案どおり承認された。

また、議事録署名人として古川委員、森委員が指名された。

(2) 審議事項

1) 平成30年度補正予算案

事務局(中澤財務・経理担当課長)より、平成30年度補正予算編成について、資料に基づき説明がなされた。

平成29年度決算において生じた剰余金を「中期計画に定める使途に充てられる目的積立金」とすることが上田市から承認されたことを受け、当該積立金を財源とし、中期計画・年度計画を確実に履行するための事業実施を主目的とした補正予算であり、4つの重点方針に基づき編成することが補足説明された。

説明に対し、以下の意見・指摘等が出された。

- ・資料に関して、対前年比のデータが欲しい(池田)
 - ・トイレ改修に関して、学生にとって切実な問題であるため、補正予算を計上しなくても臨機応変に対応してほしい。(中谷)
 - ・教室改修に関して、大教室から中教室へ、小教室(演習室)から中教室への改修についても、学生数、講義の受講者数を考慮し、先を読んで対応してほしい。(中谷)
 - ・改修金額の妥当性に関して、入札等により金額の妥当性を担保してほしい。(中谷)
 - ・トイレ、教室の改修以外にも、食堂や駐車場等学生増に対応するための類似の課題はないのか。
→いまのところ駐車場の不足はない。駐輪場の増設は行った。その他教員増により研究室の不足が見込まれるため調整中。
 - ・その他の補正予算について、学部改編検討をふまえたコンサル予算も増額した。(事務局)
- 以上の確認をふまえ、補正予算案については原案どおり承認された。

2) 平成31年度予算編成方針案

事務局(中澤財務・経理担当課長)より、平成31年度予算編成方針案について、資料に基づ

き説明がなされた。

説明後、以下の意見・指摘等が出された。

- ・1月中旬に上田市の査定が計画されているが、理事長査定が終わった後に市の査定によって見直される可能性はあるのか。それともあくまでも形式的なものなのか。(岡田)
→上田市は運営費交付金を支出する以上は、予算の全体構成を見る。形式的にというわけにはいかない。懸念される点を払拭するために、早めに財務当局と折衝することができればよいとおもう。(宮川)
- ・重点方針に「大学改革の工程表作成」とあるが、このペースで第1期中期計画期間中に学部・学科改編が間に合うのか。(柳原)
→今年度中には全体構想を固めたい。(中村) 大学院、学部学科改編に伴う施設整備、教員の補充人事による人件費の増加等、シミュレーションするための基本情報をそろえたうえで、試算を行う。事務局)
- ・施設設備に関しては、同窓会としても早く方向性を出していただき、夢と希望のある施設計画を表に出してほしい。併せて、学部・学科改編計画(及びこれに伴う施設改修)に関してもスケジュールを短縮してほしい。(山辺)
- ・学部・学科改編とこれに伴う施設改修等については、次年度は学外での市民説明会なども計画したい。(事務局)
- ・大学の土地には、思ったよりも狭い。施設整備においては用地買収も考えてほしい(山辺)

3) 学長選考会議委員の選出

事務局(菊池総務・人事担当課長)より、学長選考会議委員の選出について、資料に基づき説明がなされ、理事会での審議をふまえ、柳原、榎本、岡田委員を経営審議会選出の学長選考会議委員とすることが提案された。

提案に対し、以下の意見等が出された。

- ・学長選考会議の中に理事長は入らなくてもよいのか。理事長は任命権があるとはいえ、選考会議で決まった候補者を追認・拒否するだけとなるがよいのか。(中谷)
- ・委員構成に関して、両審議会から3名ずつ、学内・学外の比率が3名ずつというのはいかなるものなのか。委員長を決める際に決めにくいのではないか。(池田)
- ・学内事情が分かっている学内者を多くすべきではないか。(中谷)
- ・もともとの大学の考え(公立大学法人化にあたっての実施方針)は、理事長と学長が同一人物とする案であった。この場合、理事長=学長は学長選考会議に入るのは適切ではない。理事長と学長を別置としたのは上田市(母袋前市長)の意向であり、理事長を学長選考会議に入れるか入れないかという議論は、理事長と学長を別置とした制度設計にも踏み込むこととなるのではないか。(中島)
- ・構成については、両審議会から3名ずつというのが定款で定まっているため、これを前提として議論する必要がある。(事務局)
- ・いきなり学長選考会議委員の選出を行うのではなく、選考会議の在り方等を議論したうえで、準備委員会を発足し、さらに検討するとしたほうがよい。(古川)
- ・上田市としては、別置型とすることを決めた経緯がある。そのうえで、他大学の例も踏ま

え、一般的な定款を定めたと聞いている。（柳原）

- ・理事長、学長別置の場合の委員構成について、他大学の例を研究する必要がある。（禹）
- ・今回は提案どおり委員を任命し、準備委員会として立ち上げ、検討し、改めて選考会議委員を選出してはどうか。（古川）
- ・まずは提案の6名の委員でスタートし、制度設計等を進めることを認めてほしい。（宮川）
- ・学内者の意思、学長の意思をより尊重すべきということを検討してほしい。（中谷）

以上の意見交換をふまえ、提案どおり委員を選出し、準備委員会的に学長選考会議を立ち上げて、必要な事項を検討することを確認した。

（3）報告事項

1）入試、学生募集状況

事務局（島田広報入試担当課長）より、入試の実施状況及び学生募集状況について、資料に沿って報告がなされた。

資料に関して、前年度との比較資料を示してほしいとの要望が出された。

2）平成30年度就職進学状況

事務局（小金沢キャリアサポート担当課長）より、卒業予定者の内定状況について、資料に沿って報告がなされた。

3）学部・学科改編の検討状況

中村学長から、学部学科改編の検討状況が報告された。

引き続き鋭意検討中であり、経営審議会でも指摘等をいただきたい旨が述べられた。

4）公立大学法人長野大学定款変更

事務局（菊池総務・人事担当課長）より、定款変更について報告がなされた。

当該土地の金額について質問があり、評価額は20万円程度であることが回答された。

5）業務実績評価を受けての対応

平林事務局長から、平成29年度の業務実績に対する評価委員会による評価結果を受けての大学の対応について報告がなされた。

報告に対し、以下の意見等が出された。

- ・評価委員からかなり厳しい意見が出ている。来年は改善の方向でご検討いただきたい。
- ・c、d評価に対する対応ということであるが、ポイントを絞った資料を用意してほしい。
- ・総合評価（総括評価）も用意してほしい。
- ・大学側の対応（案）これに対して、これでよいのかどうかの意見を求めているのか。趣旨が読み取れなかった。
- ・OHPで場所を示して説明してほしい。

4 その他

中村学長から、本学の学生が起こした事件（強制わいせつ）に関し、関係者に心配と迷惑をかけたことに対する謝罪があった。

上記議事を証する。

平成30年11月14日

議長 白井 汪 芳 印

委員 古川 孝 順

委員 森 俊 也